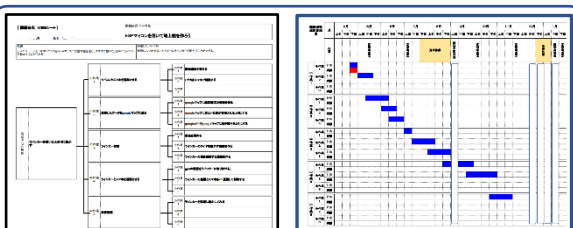


## < 5月活動報告 >

**課題研究** 工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。(学習指導要領)

情報技術科3年生を対象に、**[いばらき P-TECH メンタリング]**を実施しました。生徒が自ら取り組みたいテーマを設定し1年間かけて取り組む「**課題研究**」に対し、「**プロジェクトマネジメント**」の視点で、洗い出した作業内容(WBS)や進行計画の妥当性について、**評価と改善に向けたアドバイス**を戴きました。



WBSシート(左)と進行計画表(右)

WBS…Work Breakdown Structureの略。進行に必要な作業項目を、大きな分類から細かな分類へと階層的に分割することで、必要な作業を明確にする手法。

全体でのメンター紹介の後、6グループに分かれてメンタリングを実施しました。



メンター：小瀬さん(左側)  
(株式会社常陽銀行)



メンター：栄さん(右側)  
(茨城県立産業技術短期大学校)



メンター：皆川さん  
(シーアンドエーソリューション株式会社)



メンター：仁衡さん(オンライン参加)  
(ペンギンシステム株式会社)



メンター：篠原さん 五井さん  
(ケーシーエス株式会社)



メンター：日熊さん(右側)  
(茨城県立産業技術短期大学校)



生徒感想

「課題研究では、企画の先進性だけではなく、付加価値を説明できなければならない必要性を感じた。」  
 「第三者の意見から学べるのが沢山あるので、これから色々な方々に意見を伺おうと思った。」  
 「課題研究についての意見はもちろん、社会についての具体的なお話を聴いて、進め方についてとても勉強になり有意義な時間だった。」  
 「メンターさんからのアドバイスを生かして、もっと魅力が伝わるようなWebサイトを制作したいと思った。」

メンタリングを通して、課題研究の進め方が、更に明確になりました。

**いばらき P-TECH**とは、「茨城県」、「一般社団法人茨城県経営者協会」、「日本アイ・ビー・エム株式会社」が連携して行う「生涯にわたって社会で活躍する IT 人材の育成をめざす取り組み」です。